
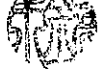


|        |   |   |   |
|--------|---|---|---|
| 收受年月日  | 議 長   | 事務局長  | 書 記   |
| 8・6・3  |   |   |   |
| 第 22 号 |  |  |  |

令和8年6月3日

埴町議会議長 鈴木 孝則 様

経済常任委員会委員長 菊 地 哲 也



### 所管事務調査報告書

本委員会は、所管事務の調査を下記のとおり実施したので、埴町議会会議規則第77条の規定により報告する。

### 記

#### 1 調査事件

デマンド交通の状況と今後の取り組みについて

#### 2 調査の経緯

本委員会は、デマンド交通の状況と今後の取り組みについて、担当課からの聞き取り調査を行った。

調 査 日：令和8年5月13日（水）

出席委員：菊地哲也、堀江祐司、小林達信、青砥與藏、吉村守広、鈴木孝則

説明員：埴町地域公共交通活性化協議会会長（副町長）、まち振興課長、  
地域づくり係長

職務出席者：議会事務局長、書記

場 所：委員会室

#### 3 調査の結果

このデマンド交通実証運行は令和6年度より交通空白地区をメインに車を運転しない、できない、バスなどの交通機関が利用しにくい町民の生活をサポートするために始められ、令和6年度は田代区、令和7年度には山間部13行政区へ拡張された。利便性のあるドア・ツー・ドア、町公用車を使い燃料代と人件費のみの低コストで運行されている。対象者は対象行政区に居住している60歳以上で申請し、利用登録者証を交付された方。特別な事情がある場合は59歳以下でも利用可とする場合もある。料金は無料。運行日は月～金曜日、時間は午前8時～午後3時30分まで。運転手はシルバー人材センターに委託し3名が担当している。予約は電話受付でシルバー人材センターに1名が常駐している。利用実人数49人、利用延べ人数561人。利用目的はスーパー等

の買い物40.6%、医療機関36.1%で、病院へ行きその後買い物をして帰るというケースが多いと思われる。事業費はすべて町の補助金であり令和7年度、人件費3,189,915円、ガソリン代260,209円等、事業支出合計3,515,055円である。令和8年度は新たに前田区、大畑区を加える予定。今後、福島交通やタクシー会社と運行路線や料金等の協議が大変重要になってくると考える。また、運転手の確保の困難さは町、各委員とも共通の課題であった。

令和8年度も実証運行を進め、タクシー利用券と組み合わせ生活を支えるため、外出機会を促進するため、本格運行を目指してもらいたい。埴町の公共交通計画の方向性がある程度見えた事務調査であった。

#### 4 委員報告書

別紙のとおり

|        |      |      |    |
|--------|------|------|----|
| 收受年月日  | 委員長  | 事務局長 | 書記 |
| 8・5・26 | 議員派遣 | 調査   | 研究 |
| 第 号    | 委員派遣 | 調    | 修  |

様式 1

調査研修等報告書

令和 8 年 5 月 26 日

議会議長  
委員会委員長 様

提出者 堀江 祐司

|                              |   |             |      |
|------------------------------|---|-------------|------|
| 派遣目的<br>(調査等<br>名称)          | 経済常任委員会所管事務調査   |             |      |
| 派遣の<br>日時                    | 令和 8 年 5 月 13 日 (水)   | 派遣先<br>(場所) | 委員会室 |
| 内容                           | デマンド交通の状況と今後の取り組みについて   |             |      |
| 派遣<br>結果<br>(意見<br>及び<br>感想) | <p>現在、デマンド交通実証実験で、令和 6 年度からの運行から現在では利用頻度も増えていることが明らかでとても良いと思う。</p> <p>軽自動車の利用で利便性もよく、コスト的にも燃料、他経費もかなり抑えられると思う。</p> <p>デマンド交通の本格化となると、現実そう簡単にはいかないのかと正直思うが、今現在の実証実験の中で利用者の満足、安心、信頼を得ていきながらも、今後の公共交通の在り方も見直しつつ是非とも、本格運行に結び付けて頂ければと。</p> <p>私、個人的にはとても素晴らしい実証実験だと思う。</p> <p>しばらく、実証実験での運行でよろしいのでは、、、と思います。</p> |             |      |

|        |                            |                  |                                      |
|--------|----------------------------|------------------|--------------------------------------|
| 收受年月日  | 委員長                        | 事務局長             | 書記                                   |
| 8・5・13 | 議<br>員<br>委<br>員<br>派<br>遣 | 議<br>員<br>派<br>遣 | 調<br>査<br>研<br>修<br>等<br>報<br>告<br>書 |
| 第 号    |                            |                  |                                      |

様式 1

令和 8 年 5 月 13 日

議会議長  
委員会委員長 様

提出者 小林達信

|                              |                       |             |      |
|------------------------------|-----------------------|-------------|------|
| 派遣目的<br>(調査等<br>名称)          | 経済常任委員会所管事務調査報告書      |             |      |
| 派遣の<br>日時                    | 令和 8 年 5 月 13 日 (水)   | 派遣先<br>(場所) | 委員会室 |
| 内容                           | デマンド交通の状況と今後の取り組みについて |             |      |
| 派遣<br>結果<br>(意見<br>及び<br>感想) | 大変良く分かった。             |             |      |

|       |     |      |     |
|-------|-----|------|-----|
| 收受年月日 | 議員長 | 事務局長 | 書記  |
| 8.5.2 | 議員  | 派遣   | 調査  |
| 第 号   | 委員  | 派遣   | 研修  |
|       |     |      | 報告書 |

令和 8 年 5 月 2 1 日

議会議長  
委員会委員長 様

提出者 青砥 與藏

|                              |   |             |      |       |        |       |
|------------------------------|---|-------------|------|-------|--------|-------|
| 派遣目的<br>(調査等<br>名称)          | 経済常任委員会所管事務調査   |             |      |       |        |       |
| 派遣の<br>日時                    | 令和 8 年 5 月 13 日 (水)   | 派遣先<br>(場所) | 委員会室 |       |        |       |
| 内容                           | デマンド交通の状況と今後の取り組みについて   |             |      |       |        |       |
| 派遣<br>結果<br>(意見<br>及び<br>感想) | 【令和 7 年度の経過】<br>令和 6 年田代地区の軽自動車による実証実験を開始、令和 7 年は対象地区 13 地区とし段階的に拡張して運行を実施する。 |             |      |       |        |       |
|                              | 【利用状況】  |             |      |       |        |       |
|                              | 行政地区  | 対象者         | 登録者  | 利用実人数 | 利用延べ人数 | 利用割合  |
|                              | 田代地区  | 52 人        | 38 人 | 13 人  | 187 人  | 33.3% |
|                              | 那倉地区  | 108 人       | 28 人 | 12 人  | 113 人  | 20.2% |
|                              | 片貝地区  | 93 人        | 14 人 | 9 人   | 100 人  | 17.8% |
|                              | 湯岐地区  | 71 人        | 8 人  | 4 人   | 62 人   | 11.1% |
|                              | 矢塚地区  | 36 人        | 6 人  | 3 人   | 42 人   | 7.5%  |
|                              | 木野反地区   | 40 人        | 11 人 | 3 人   | 33 人   | 5.9%  |
|                              | 折籠地区  | 35 人        | 4 人  | 3 人   | 21 人   | 3.7%  |
|                              | 東河内 1・2   | 39 人        | 2 人  | 2 人   | 3 人    | 0.5%  |
|                              | 山形地区  | 35 人        | 3 人  | 0 人   | 0 人    | 0.0%  |
|                              | 大蔵地区  | 54 人        | 7 人  | 0 人   | 0 人    | 0.0%  |
|                              | 真名畑地区   | 108 人       | 2 人  | 0 人   | 0 人    | 0.0%  |
|                              | 田野作地区   | 10 人        | 0 人  | 0 人   | 0 人    | 0.0%  |
| 計                            | 681 人   | 123 人       | 49 人 | 561 人 | 8.3%   |       |
| 【月別利用者数】                     |   |             |      |       |        |       |
| 4 月                          | 5 月   | 6 月         | 7 月  | 8 月   | 9 月    |       |
| 1 人                          | 16 人  | 18 人        | 38 人 | 45 人  | 50 人   |       |
| 10 月                         | 11 月  | 12 月        | 1 月  | 2 月   | 3 月    |       |
| 60 人                         | 69 人  | 65 人        | 64 人 | 73 人  | 62 人   |       |

※運行体制、公用車の軽自動車 3 台、運転手（3 名）はシルバー人材センター委託

【今後の予定】

令和 9 年度まで実証実験を行う。それまでに事業管理者、運転手、運行行程、既存の福島交通とのすり合わせ、国・県と打ち合わせを行う。

【意見】

令和 6 年振興課長、令和 7 年振興課長は長年行っている実証実験で、大いに実績を残した。過疎地域の公共交通はますます疲弊する。行政能力を発揮して、特に中山間地域の交通網を確保。また、免許返納による高齢者向けの利便性向上を構築していただきたいと思います。

|        |     |      |          |
|--------|-----|------|----------|
| 收受年月日  | 委員長 | 事務局長 | 書記       |
| 8・5・18 | 議員  | 派遣   |          |
| 第 号    | 委員  | 派遣   | 調査研修等報告書 |

様式 1

令和 8 年 5 月 17 日

議会議長  
委員会委員長 様

提出者 吉村 守広

|                              |  |             |      |
|------------------------------|--|-------------|------|
| 派遣目的<br>(調査等<br>名称)          | 経済常任委員会所管事務調査報告書   |             |      |
| 派遣の<br>日時                    | 令和 8 年 5 月 13 日 (水)  | 派遣先<br>(場所) | 委員会室 |
| 内容                           | デマンド交通の状況と今後の取り組みについて  |             |      |
| 派遣<br>結果<br>(意見<br>及び<br>感想) | <p>デマンド交通の実証運行は、車を運転しない・できない、バスなどの交通機関が利用しにくい町民の生活をサポートすることを目的に令和 6 年に田代区で始まった。令和 7 年度には、対象地区を山間部地区として段階的に拡張していった。運行実績は、延べ利用者 561 人、運行日数 177 日だった。成果としては通院や買い物など、日常生活に直結した利用が多く確認され、町民の生活を支える役割を果たした。また、予約制により目的に合わせた柔軟な対応など、町の実情に合わせた交通手段として有効性を示せた。さらに、利用者からは、とても便利だし大変助かるなど好評であった。経費は、人件費やガソリン代等で 351 万円程度であった。令和 8 年度も、さらに詳細なデータを確保するため、4 月から稼働している。今後の公共交通の在り方については、将来的には、登園・通学に利用されているスクールバス系統のバス路線を除き、デマンド交通を本格運行していきたいとしている。</p> <p>デマンド交通の本格運行に向けては、バスやタクシー会社との役割分担など協議しなければならないし、車両とドライバーの確保や安全運行のための講習も必要不可欠な要素になってくると思われる。実証運行を継続的に実施して、データを検証し、地域公共交通活性化協議会でしっかり検討していただきたい。</p> |             |      |

|        |      |      |       |
|--------|------|------|-------|
| 收受年月日  | 委員長  | 事務局長 | 書記    |
| 8.5.21 | 議員派遣 | 委員派遣 | 調査研究  |
| 第 号    |      |      | 修等報告書 |

様式 1

令和 8 年 5 月 2 1 日

議会議長  
委員会委員長 様

提出者 鈴木 孝則

|                              |   |             |      |
|------------------------------|---|-------------|------|
| 派遣目的<br>(調査等<br>名称)          | 経済常任委員会所管事務調査   |             |      |
| 派遣の<br>日時                    | 令和 8 年 5 月 1 3 日  | 派遣先<br>(場所) | 委員会室 |
| 内容                           | デマンド交通の状況と今後の取り組みについて<br>(埴町デマンド交通実証運行)   |             |      |
| 派遣<br>結果<br>(意見<br>及び<br>感想) | <p>埴町地域交通活性化協議会が実施主体となり令和 7 年 4 月 2 5 日から令和 8 年 3 月 3 1 日まで実証運行した。</p> <p>対象行政区は中山間地を中心に 1 3 区で田代区を皮切りに 1 1 月からは真名畑区までと順次拡大した。対象者は 6 0 歳以上であるが 5 9 歳以下でも特別な事情の場合は利用可能で 4 名(免許無し 2 名、障害者 2 名)が利用した。利用方法は事前の利用登録により利用登録証を交付された方を対象とし前日(平日) 3 時まで電話で予約し内容に応じて運行する。</p> <p>料金は無料、運行日は平日週 5 日(お盆年末年始は除く)、運行時間は 8 時から 3 時 3 0 分まで。運行車両は町の公用車(軽自動車)で 1 日あたり 2 ~ 3 台で運行し 1 台 2 往復で、運転手はシルバー人材センターに委託し 3 名が登録し運転業務を担当している。予約は同センター事務所に 1 名が常駐し対応している。周知は広報はなわ、対象行政区への回覧、IP 告知端末、対象者本人への個別通知。運行実績として対象者 6 8 1 人。登録者は 1 2 3 人で利用実人数 4 9 名、運行日数 1 7 7 日で運行回数は 1 日 1 台 2 便。利用目的としてはスーパーなどでの買い物医療機関が大半を占めている。交通手段のない方の生活の支えになり、またドア to ドアなので足の不自由な方からも非常に助かるという声を聞く。今後、データを分析し活性化協議会で議論を進めデマンド交通の本格運行を目指して欲しい。その上でデマンドを主体として路線バスやタクシー利用券と組み合わせて高齢者や移動手段のない方の外出を引き続き支援して欲しい。</p> |             |      |